



樹木漫画

# リン子の絵日記

山が近くになくとも

公園や校庭 街路樹と 木は身近にあふれています

日本人は昔から 木々の特徴をよく知り 生かし

生活に上手に取り入れ 付き合ってきました

そんな日本人と木の文化をご紹介します

樹木漫画「リン子の絵日記」

子供も大人も一緒に読んだら

身近な木に会いに行こう！

## 四季の観察ポイント

春

雌花は前年の  
枝先につく



雄花

幹の中の  
虫を食べる  
クマゲラ



# エゾマツ

マツ科  
トウヒ属  
樹高  
30~40m

夏

葉は先がとがる  
葉の付け根には  
凸型の突起 (葉枕)  
が目立つ



秋

完全に熟した  
松ぼっくりは  
枝先に  
垂れ下がる



種子

幹を食べる  
ヤツバキクイムシ



枝は垂れ下がり  
トドマツより  
優しい印象



種を食べるエゾリス

冬

冬芽は三角で松ヤニに覆われる



樹皮はアカエゾマツと  
比べてなめらか

エゾマツは高さ40mにもなる北海道の森の屋根を支える針葉樹で、「北海道の木」に選ばれています。  
幹から出る枝が垂れ下がることから「天まで届かんでもえーそのエゾマツ」と覚えられます。光の届かない環境にも耐えることができず、小さいときの成長は遅く、大きく成長するには明るい環境を必要とします。地面の上では種子が菌の害を受けて発芽できないため、倒れた木や切り株の上に芽生えて成長します。根が浅く水分を好むため、乾燥した土地では育ちません。

見てみて木が1列に並んでいるよ!

エゾマツ

今日は登山にきています。

あれはエゾマツの倒木更新だね

エゾマツの種や若い木は菌にとっても弱いから

木の上にこぼけ~ (種)

運よく倒れた木の上に落ちた種だけが生き残れるんだ。

成長して根元の木がなくなると空洞ができて「根あがり」になることもあるよ。

エゾマツは成長が遅く、苗木を育てるのに6年もかかるうえ、霜や病害虫に弱いことから、造林が難しく数が減ってきた。

しかし「北海道の木」として親しまれ、材としても優れたエゾマツを回復させようと様々な取り組みが進められているよ。

エゾマツは40mにも育つ森のシンボルだ

未来に残していきたいね

あ! クマゲラだ。



コンテナ苗での成長試験

エゾマツとくらしとのつながり

エゾマツは木目がまっすぐで美しく、曲げ加工がしやすいことから、建築材や家具材、ギターやバイオリンといった楽器材に活用されてきました。



また繊維が長いいため、パルプ材にも最適です。

アイヌ民族とエゾマツ

エゾマツの枝は垂れ下がり、屋根のようになることから、冬にエゾマツの下で火を焚くことで命が助かった話があります。また松ヤニは赤切れの薬にしたそうです。



## 四季の観察ポイント

春

雌花は前年の  
枝につく

雄花



ヤチダモとの間を  
行き来する  
トドノネオオワタムシ  
(雪虫)

夏

受粉した雌花は  
成熟して暗紫色になる  
葉の先は二つに分かれ  
裏には2本の白線が  
目立つ

枝は毎年一段ずつ  
輪のように広がる

秋

完全に熟した  
松ぼっくりは種子を  
飛ばしてバラバラに  
なり芯だけを残す

葉を食べる  
エゾモモンガ

共生するモミタケ

冬

種子



樹皮にも  
松ヤニが  
つまった  
ヤニツボ  
がたくさん  
ある

冬芽は松ヤニに覆われる



トドマツは北海道で一番木材としての量が多い木です。寒さにも強く、少ない光のもとでも耐えますが、その分成長は遅く、苗木を作るのに4年もかかります。幹から出る枝が上を向くことから「とどけ」とどけの「トドマツ」と覚えませう。木の内部に水分を多く含むため冬の寒さが厳しい日には、内部の水が凍って幹が割れる「凍裂（とうれつ）」が起るるります。

# トドマツ

マツ科  
モミ属  
樹高 30m

# リン子の絵日記

トドマツ



わくわく本物の木のツリー！

北海道のモミと  
いえばトドマツ。

葉先がやわらかく  
枝が上を向く  
トドマツはツリー  
に最適だね。

なんかすっきり  
みかんみたいな  
香りがする！

トドマツから  
はアロマ  
オイルが  
取り出せるの。

冬の乾燥した空気を  
きれいにしてくるのよ。



寒さに強く、少ない光でも  
成長できるトドマツは

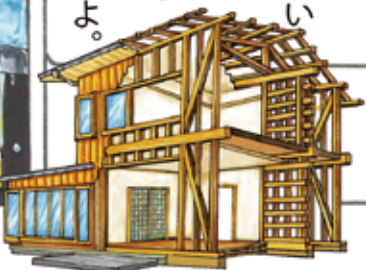
北海道の森からのおくりもの。



樹皮も白っぽい  
灰色できれい

材も白くてきれいなんだ。

軽くて  
柔らかくて  
加工しやすい  
から  
建築材など  
として重宝  
されてきたよ。



## トドマツとへらことつながり

トドマツの材は木目がまっすぐで白く、軽く柔らかいことから、加工しやすいため、家の柱や板など建築材・土木材として利用されてきました。  
また昔は魚を入れる魚箱や、お棺・お墓に立てる卒塔婆（そとば）にも使用されていました。



近年はCLT工法など新しい加工法の発達で、中高層建築への応用も期待されています。

## アイヌ民族とトドマツ

トドマツの名前はアイヌ語で「ハイマツ」を意味する「トトロップ」を間違えたとする説があります（実際は「フップ」といいます）。冬場の狩りの時には、トドマツの枝で狩り小屋の屋根を作ったと言われています。

四季の観察ポイント

春

雌花

雄花は枝の先に垂れ下がる



生木を食べる  
シロスジカミキリ

夏

果実は葉のわきから垂れ下がる



樹液を吸うエルタテハ

秋

葉は黄葉し、果実は茶色く熟す



種子



冬

樹皮には黒い

「へ」の字模様が目立つ

# シラカンバ

カバノキ科  
カバノキ属  
樹高  
20～25m

幹に空いた穴は  
アカゲラや  
モモンガの  
巣穴になる



シラカンバは北海道を代表するパイオニア樹種です。パイオニア樹種とは新しく開けた土地に、いち早く入り込んで旺盛な成長をする木のことで、山火事や台風等の被害跡地に一斉に入り込み純林を作ります。  
光を好み成長が速いシラカンバですが、光が届かない場所では成長できず、寿命も百年程度と、ほかの木と比べて短いです。

シラカンバの根にはベニテングタケが共生しているため林内によく発生する



# リン子の絵日記

## シラカンバ

今日は、キャンプにきています。



おシラカンバの倒木だ。キャンプファイヤーに使えるな。

カバのなかまの樹皮はもえやすいから、たきつけに最適なんだ。

リン子、皮をむいて。

チェーンソーの柄はアマガモ  
アイヌの人たちは、シラカンバのなかまのウダイカンバの皮を松明にしたんだよ。



シラカンバの樹皮は、はだ目が細かくて、加工しやすいから、細工品に使われたりもしたんだ。

ひしゃくのお椀部分にも

北海道に居住する先住民族。昔は、物々交換と狩猟採集で生活した。

### アイヌ民族

じゃあ、そろそろたきつけを...

だめっ、こんなにきれいにむけたんだもん!

それ、どうするの...

ペリペリペリペリ

アイヌ民族も春先にシラカンバの樹液を採取し、そのまま飲用するほか、お酒造りにも活用していました。

### アイヌ民族とシラカンバ

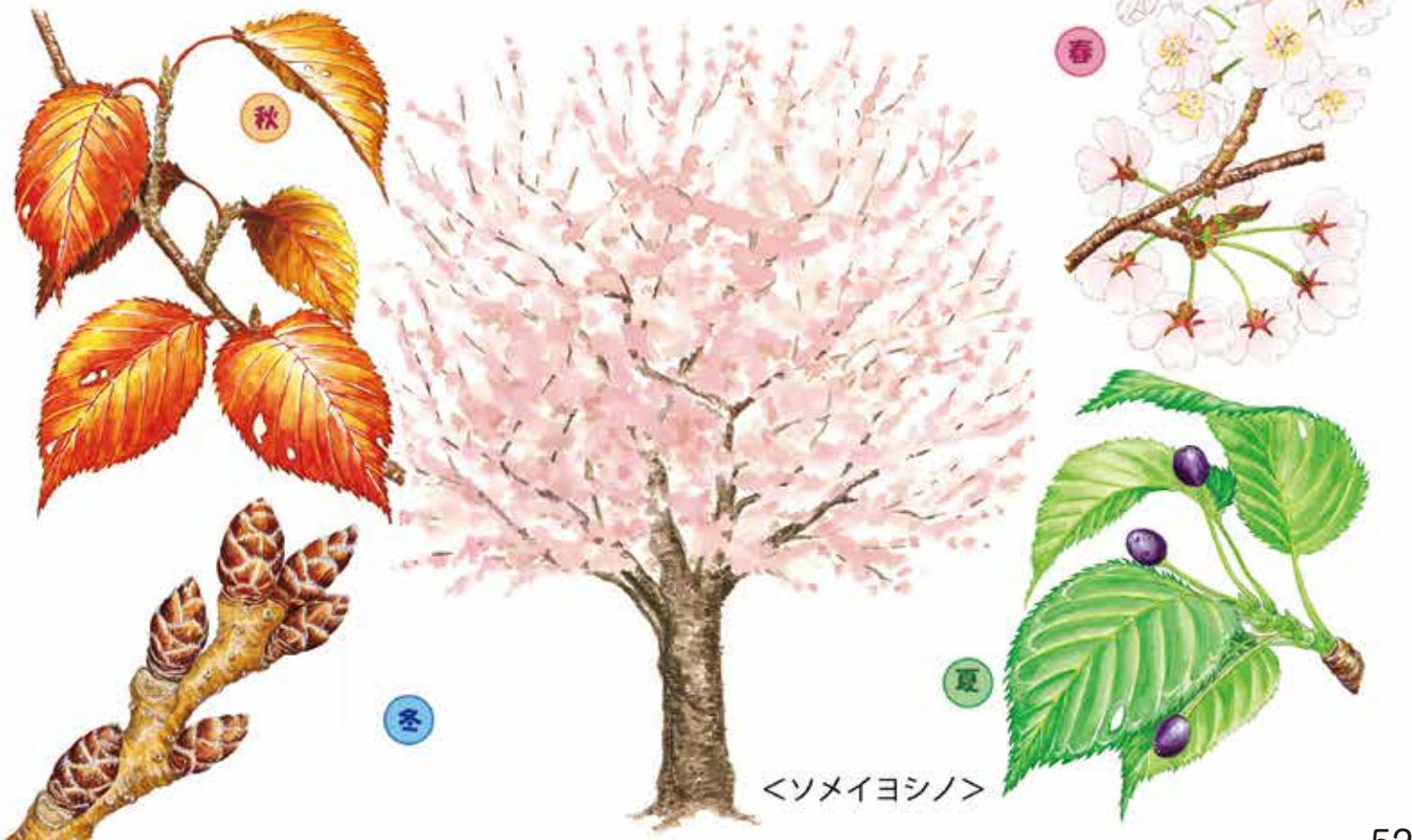
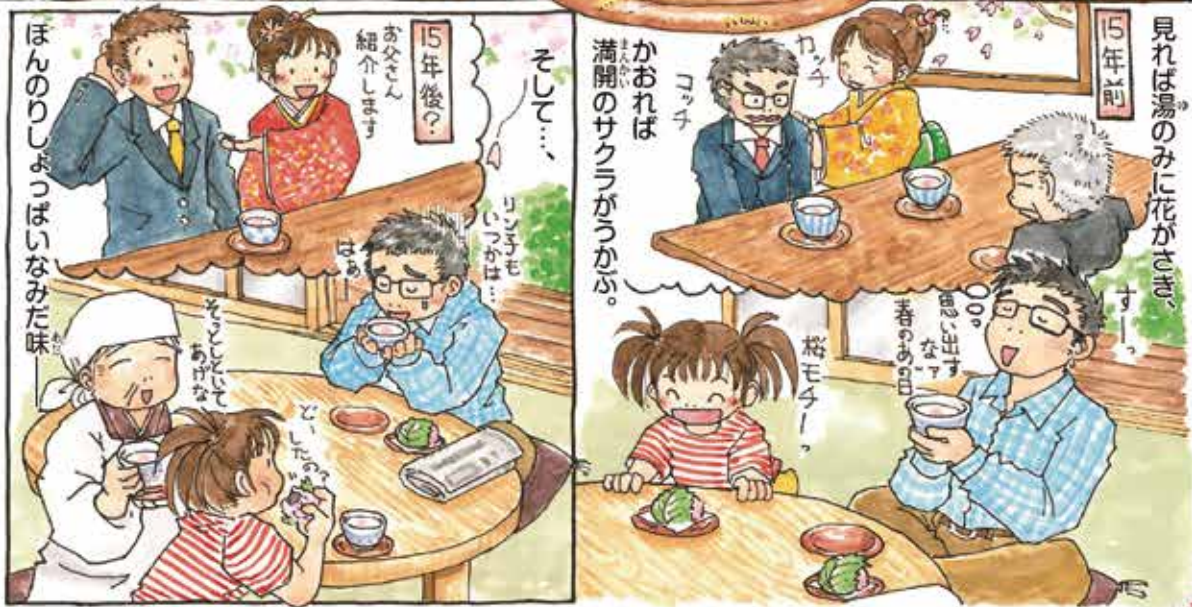


シラカンバは水分を多く含むため、春先の雪解け前に幹に穴を空けて樹液を集めることができます。この樹液はほんのりと甘く、煮詰めるとシロップになり、キシリトールの原料にもなります。また健康飲料水や化粧品にも活用されています。

### シラカンバとくらしとのつながり

# サクラ

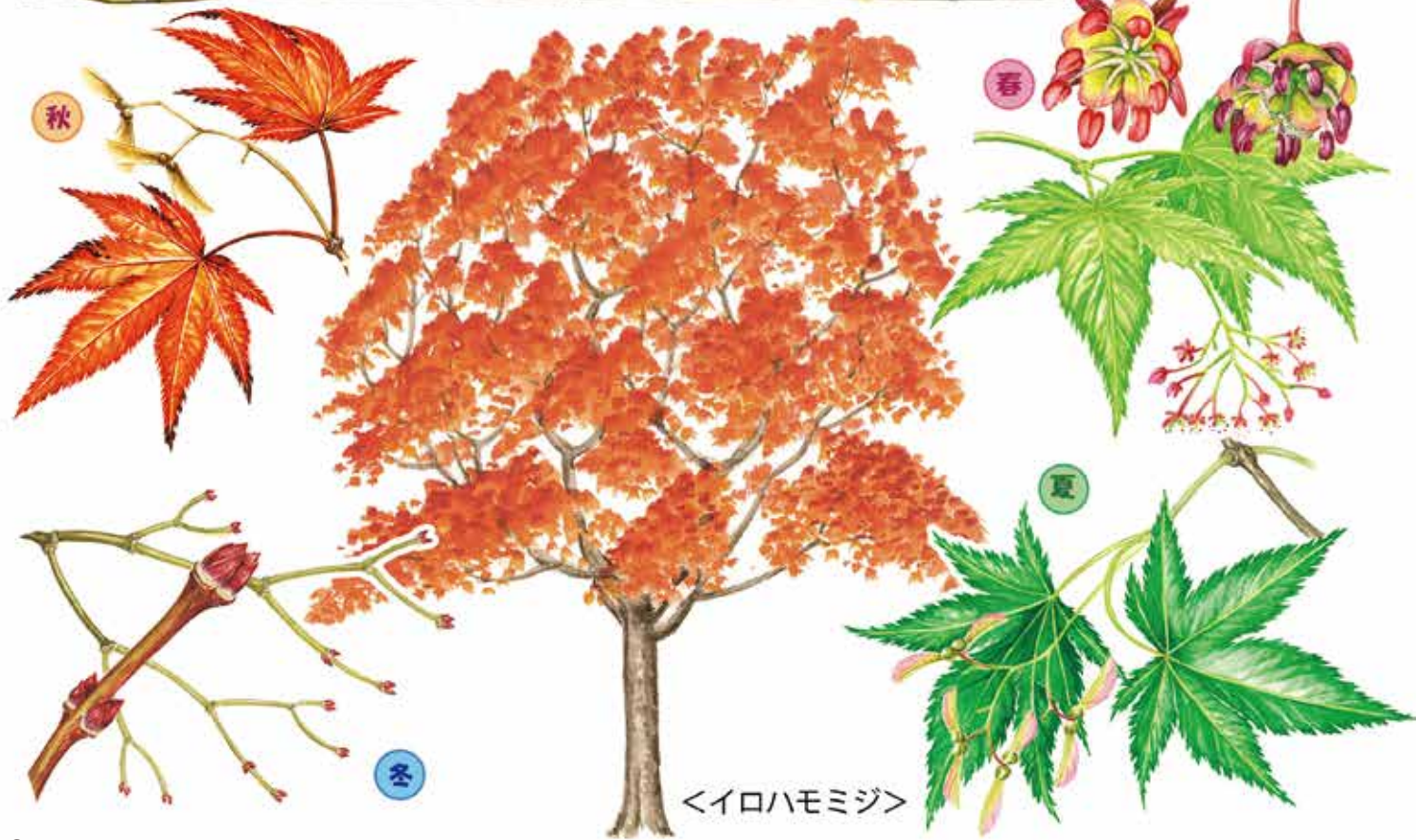
バラ科  
サクラ属  
樹高  
10～15m





# カエデ

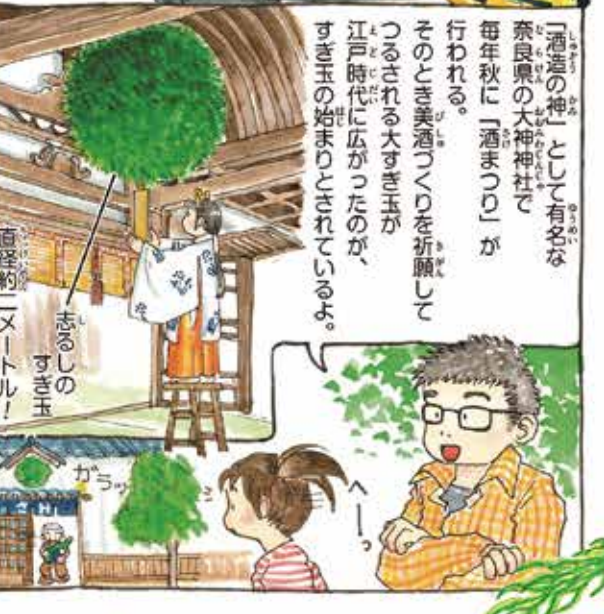
ムクロジ科  
カエデ属  
樹高  
6~15m



<イロハモミジ>

# スギ

ヒノキ科  
スギ属  
樹高  
15 ~ 30m



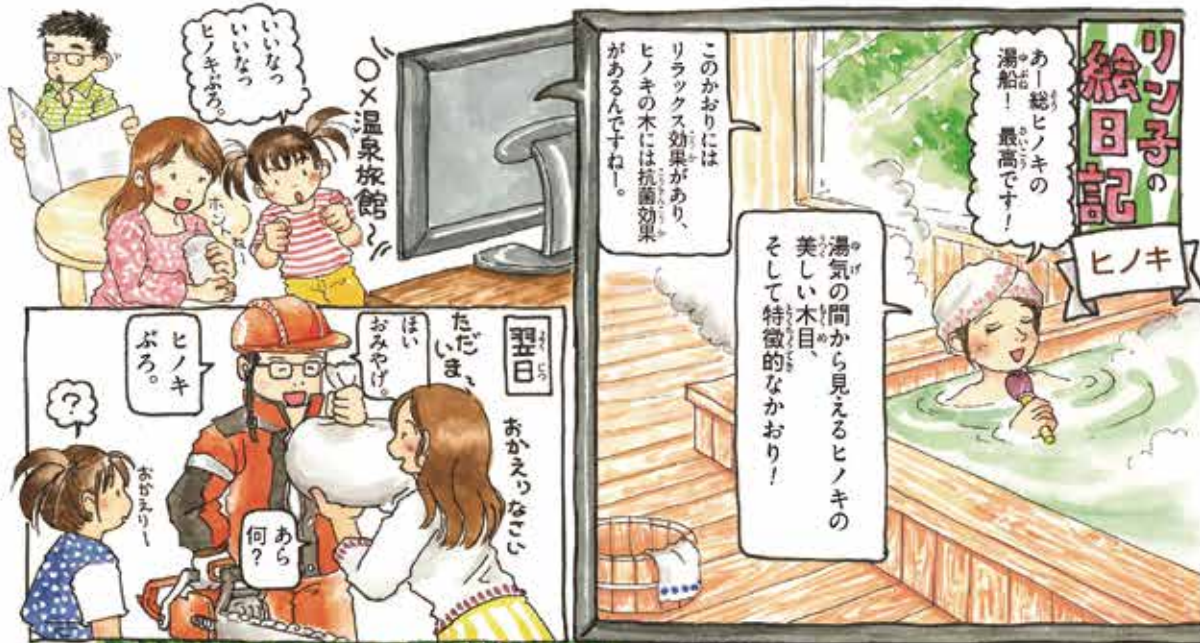
# マツ

マツ科  
マツ属  
樹高  
15 ~ 25m



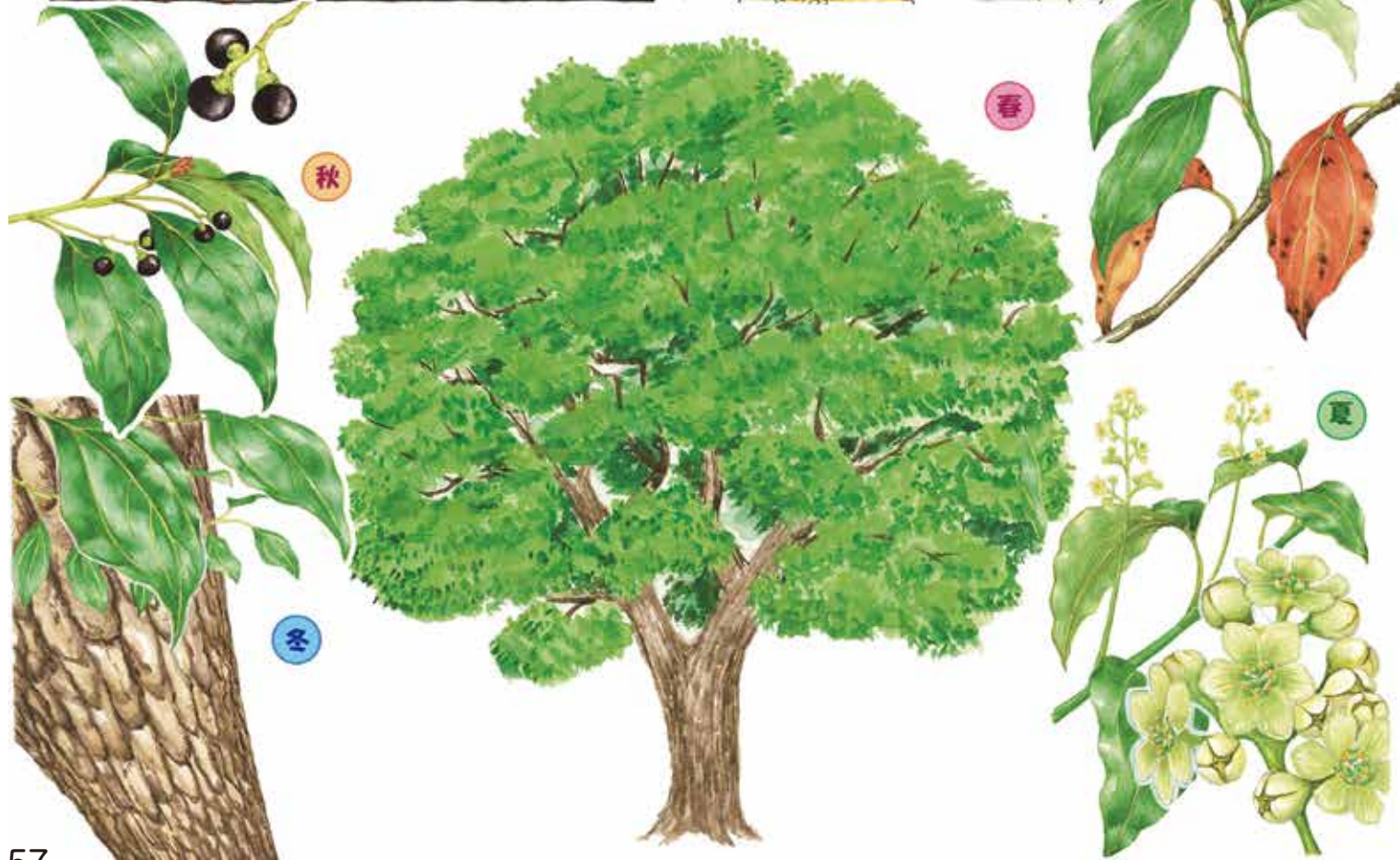
# ヒノキ

ヒノキ科  
ヒノキ属  
樹高  
15～30m



# クスノキ

クスノキ科  
クスノキ属  
樹高  
15 ~ 30m



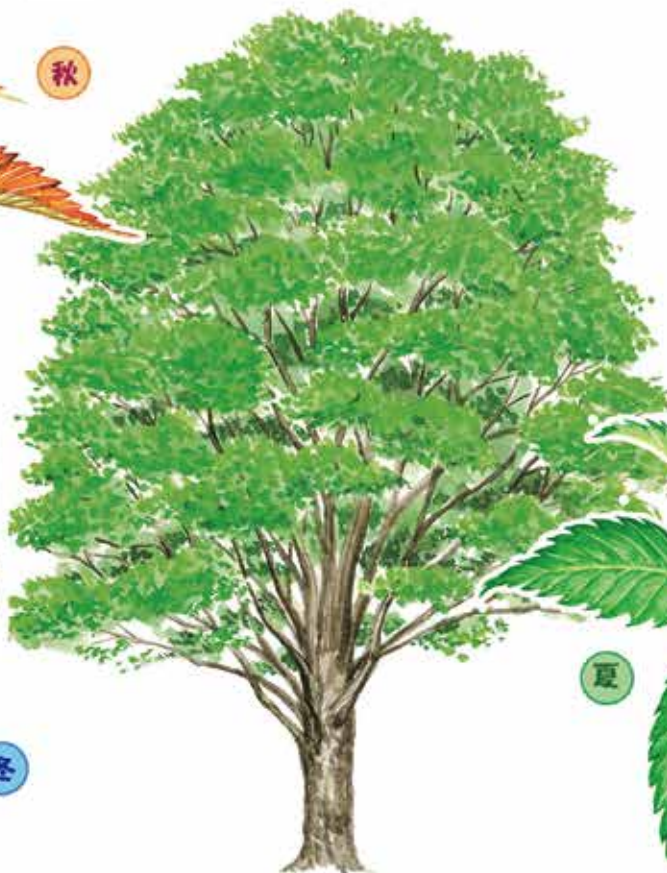
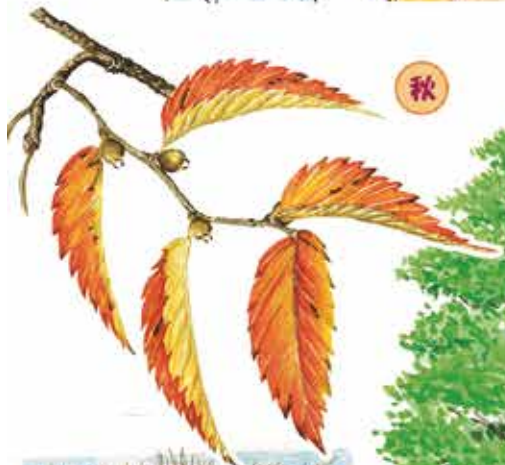
# イチヨウ

イチヨウ科  
イチヨウ属  
樹高  
8 ~ 30m



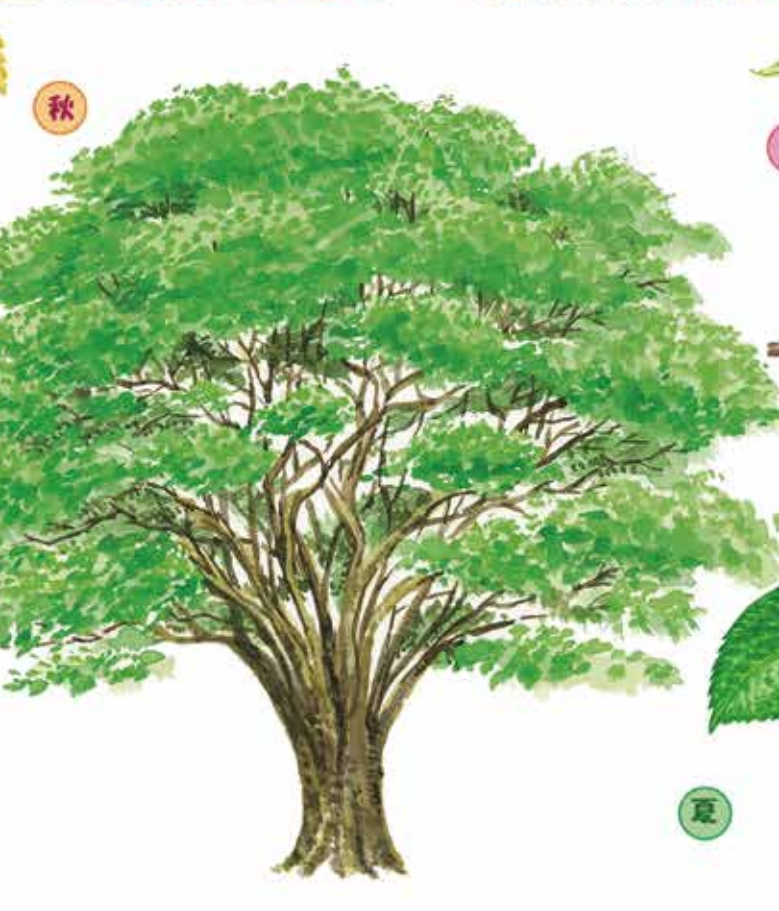
# ケヤキ

ニレ科  
ケヤキ属  
樹高  
20 ~ 30m



# エノキ

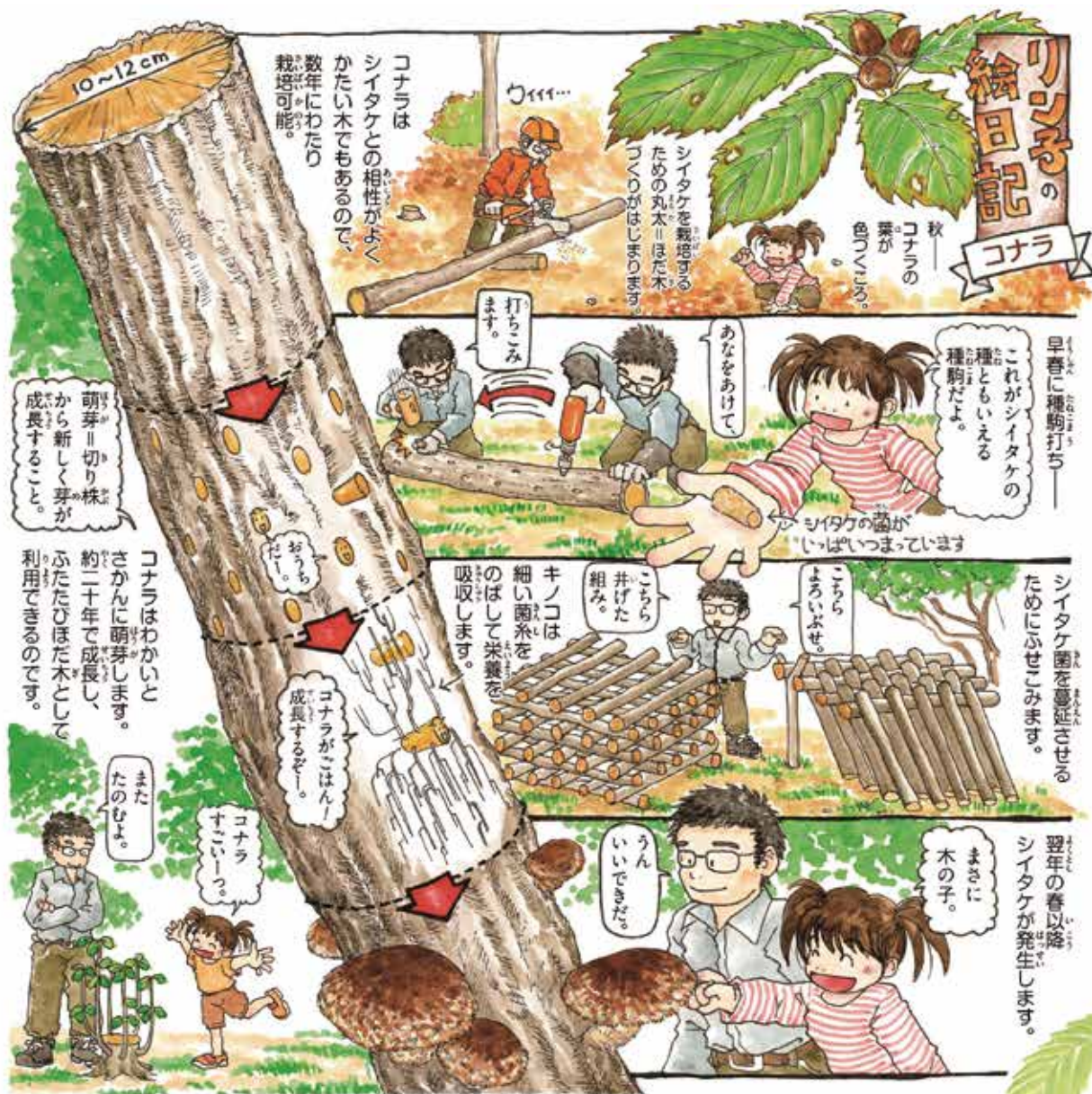
アサ科  
エノキ属  
樹高  
10 ~ 20m





# コナラ

ブナ科  
コナラ属  
樹高  
5 ~ 15m



秋



春



夏

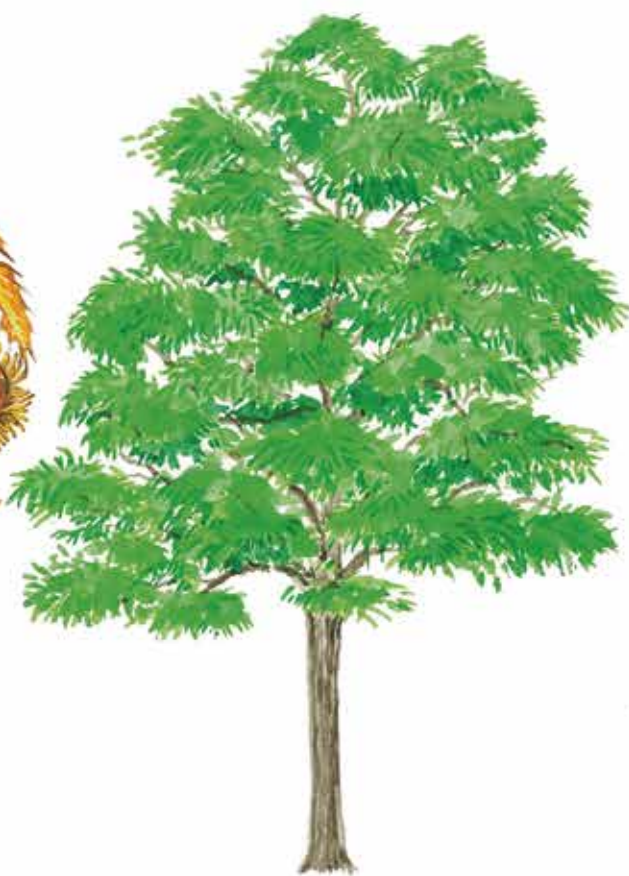


冬



# クヌギ

ブナ科  
コナラ属  
樹高  
10 ~ 20m



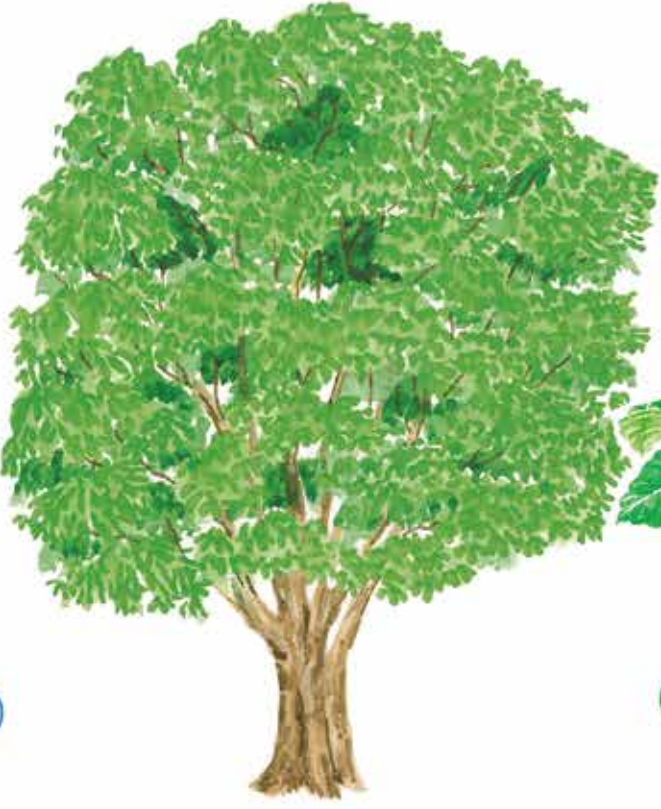
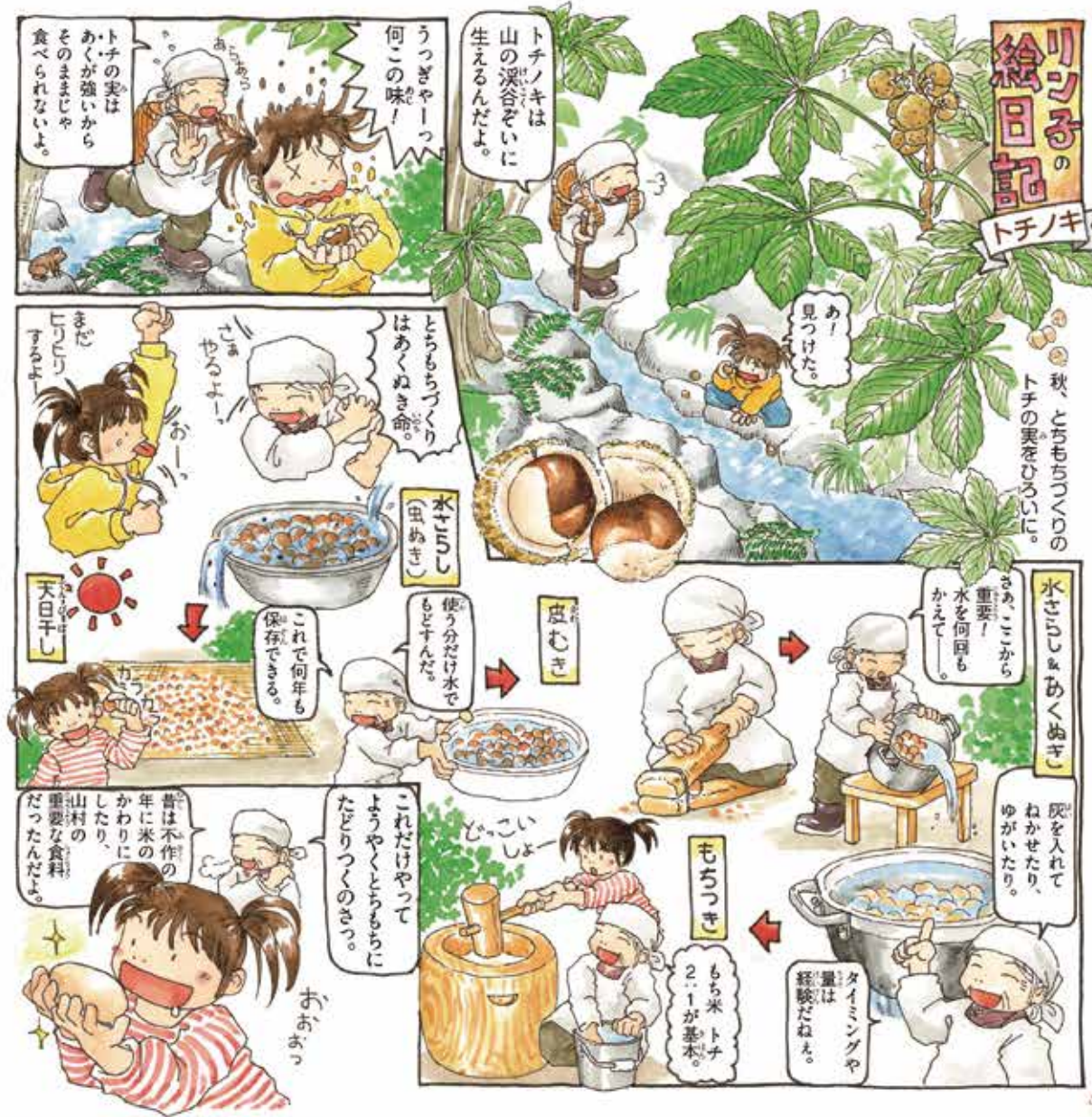
# スダジイ

ブナ科  
シイ属  
樹高  
15 ~ 30m



# トチノキ

ムクロジ科  
トチノキ属  
樹高  
15 ~ 30m



# ツバキ

ツバキ科  
ツバキ属  
樹高  
2～10m

